## 学習指導案

子百括号条		
【題材名】 10 分で防災~大雨編~ 【学年】小学校高学年 【科目】理科・総合的 【単元名】— 【コマ数】1		
	2112 = 11 13 211	1 - 11-
【事前準備】   PC・電子黒板(プロジェクター&スクリーンで代用可)・ ホワイトボード・学習シート・筆記用具   ※可能であれば、地域の「ハザードマップ」の準備があるとよい		
【本時の目標】	普段遭遇しない災害について、災害が発生したときに「どのようなことが起るか」また、その起ることに対して、「どのような準備をおこなったらよいか」を考え、発表することで、自らの判断で自分を守るための行動がとれるような知識や意識を育むことを目的とする。	
学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点・評価
○導入 5分	<ul> <li>・授業に関わる導入</li> <li>・過去にどのような災害がおきたのか。</li> <li>・ニュースなどで取り上げられた自然 災害にはどのようなものがあったの か。</li> <li>・「災害」「防災」の言葉の意味、「防災」 の目的を考え、学習のめあてや進め 方について。</li> </ul>	<ul> <li>自分たちの地域でおきた自然災害を地図(ハザードマップ)や地名・町名、写真などから紐解き、生徒・児童に気づかせる。</li> <li>自然災害は、いつどこでおきるか分からないこと、命に関わることを理解させるため、ニュースなどで印象に残っているものを思い出させる。</li> <li>「災害」「防災」の言葉の意味、「防災」の目的を説明する。自然災害に対する正しい知識や心構えを身につけることが、自分の命やまわりの人の命を守ることにつながることを理解させる。</li> </ul>
	大雨の防災について考え	る(講義+ディスカッション)
〇課題 15 分間	展開① 大雨による災害について考えよう ・ワークシートの活用やスライドを使用し、大雨時の想定について考え、話し合う。(ワークシートへの記入・グループワーク)	<ul> <li>・自然災害の脅威と身近な地域も例外ではないことを理解させるために、実際の被害状況の画像を見せる。</li> <li>・ワークの時間では、主体的な話し合いとなるように、自由な発想を尊重する声かけを行う。また、クラスの雰囲気に合わせ、個別やグループなど、考える方法を柔軟に変えてもよい。</li> <li>・ワークの時間は残り時間を加味しながら決定する。</li> </ul>
〇発展 15 分間	展開② 対策について考えよう ・展開①で記述したワークシートを活 用し、大雨時の想定や行動について、 考える。	【評価規準】 積極的に取り組んでいるか。周りの意見に耳を傾け、 異なる意見や考えを受け入れているか。 【評価場面・評価方法】 ・自分の意見を書く ・ディスカッションでの姿勢 ・発表 (意見を言える・他者の意見を尊重できる)
Oまとめ 10分	まとめ ・防災について (振り返り) <応用・発展>	<ul> <li>・防災(災害)に関する知識などについて振り返るとともに、「もしも」のときに備えてどのようなことを準備しておいたほうが良いかなどの意識づけを行う</li> <li>・自分自身やまわりの人の命、大切な人の命を守るための行動ができるよう、自然のことを知る術を紹介するとともにまとめを行う。</li> <li>・地域のハザードマップを準備しておくことで、自分の地域について考えることができるとなお良い。</li> </ul>
	<ul><li>過去の災害を調べてみよう</li><li>災害リスクについて考えてみよう</li><li>災害対策を調べてみよう</li><li>防災機関の見学をしてみよう</li><li>町歩きを行い、災害が発生した際の 危険な場所を考える。</li></ul>	学びのイメージ (意識させたいキーワード) ①自分の命は自分で守るという姿勢が大切であること。(自助の精神) ②災害は防げないが、軽減することができること。(減災) ③いざというときに、どのようなことを行うか家族と話し合っておくこと。 ④もしもに備え、日ごろから準備を行うこと。(事前防災)

作成:福岡管区気象台